

令和6年度 丹波篠山市立丹南中学校 学習や生活に関する調査結果について

(第3学年)

1学期に実施した全国学力学習状況調査および丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。ここに本校の分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

●国語

【目標値に達している項目】

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項
- ・情報の扱い方に関する事項

【課題のある項目】

- ・言語文化に関する事項

全体的に全国平均とほぼ同等かそれ以上で、おおむね良好です。とくに、「漢字を書く」、「意見と根拠など情報と情報の関係について理解する」項目は目標値を大きく上回る結果となりました。その一方で、「行書の特徴を理解する」項目や「目的に応じて必要な情報に着目して要約する」項目は目標値を下回っており、課題があると言えます。書写の授業を通じて、文字の特徴を意識することや目的を明確にした上で、適切さや正確さを意識して要約することができるよう繰り返し指導していきたいと思えます。

●数学

【目標値に達している項目】

- ・数と式
- ・図形
- ・関数
- ・データの活用

どの分野も全国平均を大幅に上回っており、とても良好です。とくに「数と式」分野の等式の変形、「関数」分野の一次関数のグラフ、「データの活用」分野でデータの傾向を読み取り説明する問いに関しては10ポイント以上、上回る結果となりました。しかし、「問題解決の方法を数学的に説明する」ことや「問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだす」ことに課題が見られました。授業で、今まで通り基礎基本を大切にしながら、説明や証明する機会を増やし、活用する力を伸ばしていきたいと思えます。

●生活習慣・学習習慣について

【自己認識】【社会性】【学級環境】において、今年度も良好な様子がみられます。家族や友だち、先生とのつながりを実感し、つらい時には相談しようとする生徒が増えているようです。「心から感動したことがある」と答える生徒が多い一方、授業においては「夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た」とはあまり感じられていません。個に応じた取り組みやICT機器などの活用をさらに進め、生徒たちの成長につながるような授業を目指していきます。

【ソーシャルスキル・社会参画】は、「仲直りするために、自分から行動する方ですか」の項目で全国平均をやや下回っています。一方、「グループで話し合う授業は楽しいですか」では全国平均や昨年度よりも高い傾向です。自分の思いを相手にうまく伝えられる力を伸ばすような授業や学級活動でのグループ活動をさらに行い、それぞれの思いがしっかり伝わるよう支援していきます。

今後も、家庭と学校が同一方向へ進めるよう様子を丁寧にお伝えします。また、生徒の頑張りを認め声かけすることで、クラスや学年の一員として前向きに生活し、自分の良いところを伸ばそうとする意欲を高めていきたいです。ご家庭でも励ましの声かけや見守りをよろしく願います。